

# 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の取り組み —ポスター発表を中心に—

安房地域リハビリテーション広域支援センター  
亀田メディカルセンター

理学療法士

佐伯 考一

# 南房総リハビリテーション・ケア文化祭

## 目的

### ●知る機会の提供

集うことによって、顔を知り、事業所を知り、地域を知る機会を提供。

### ●チャレンジの場の提供

自ら発表者として、自分の機関についてまとめ、それを大勢の前で伝える機会を提供。

### ●地域作りへの参画の一步

自分の機関で担当する仕事だけでなく、地域という視点で仕事を行ってほしい。ともに協業が行われる地域となる。

### ●リハビリテーションの概念を拡張

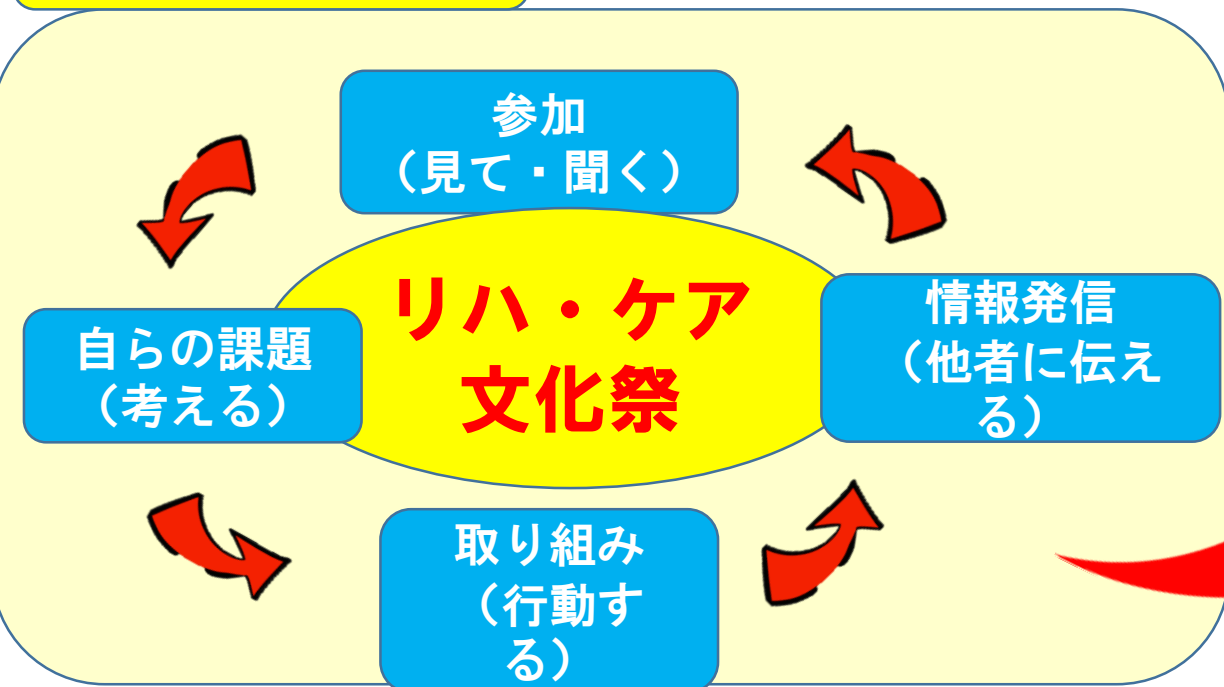
様々な視点での地域の課題を学び、固定概念にこだわらず、リハビリテーションの固定概念を拡張していく。

### ●リハビリテーション資源の開発

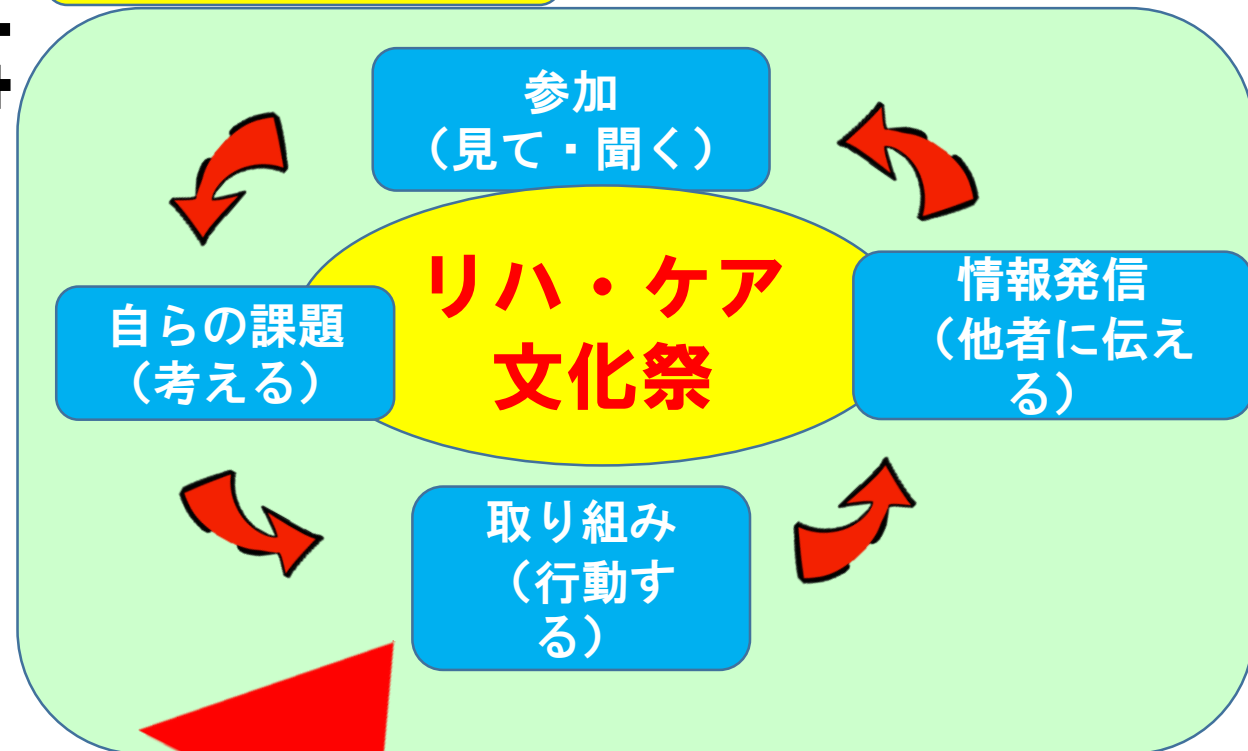
地域におけるリハビリテーション資源を開発し、広めていく。

# 南房総リハビリテーション・ケア文化祭 開催して実現したい事

自分の業務

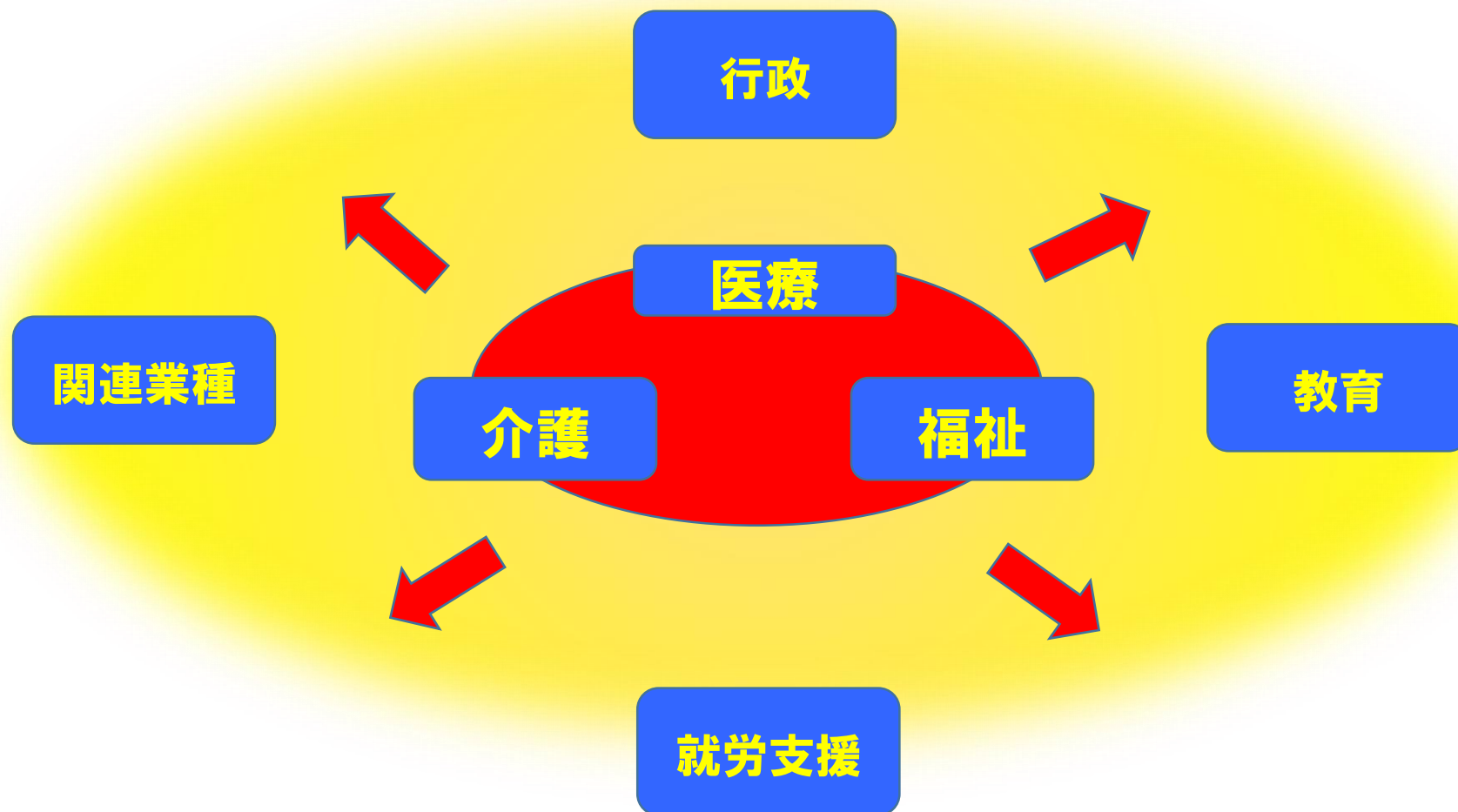


地域作り・協業



自らの業務遂行から、地域作り・協業のサイクルへ

# 参加してほしい対象



参加して欲しい対象の中心は、医療・介護・福祉。

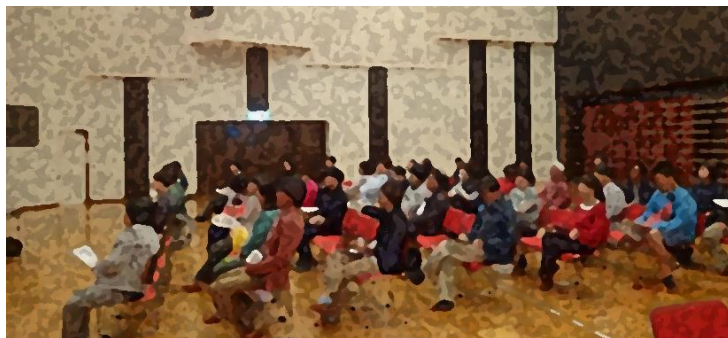
会を重ねる毎に、対象者は拡大中

# 第9回 南房総リハビリテーション・ケア文化祭 会場風景

ポスター発表



講演会場



町長から挨拶



後夜祭

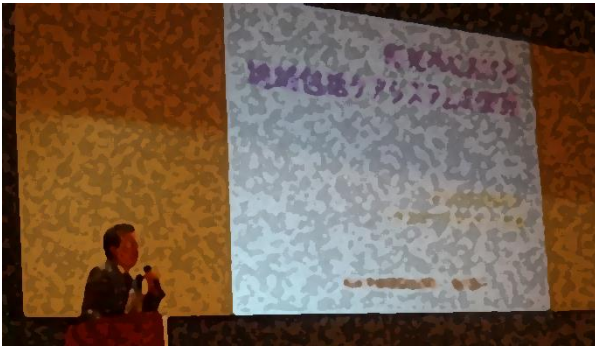


開会セレモニー



# 講演内容

## 特別講演 埼玉県和光市の取り組み



## ランチョンセミナー パラリンピック



## レクチャー 人生の最後、あなたは どうする？



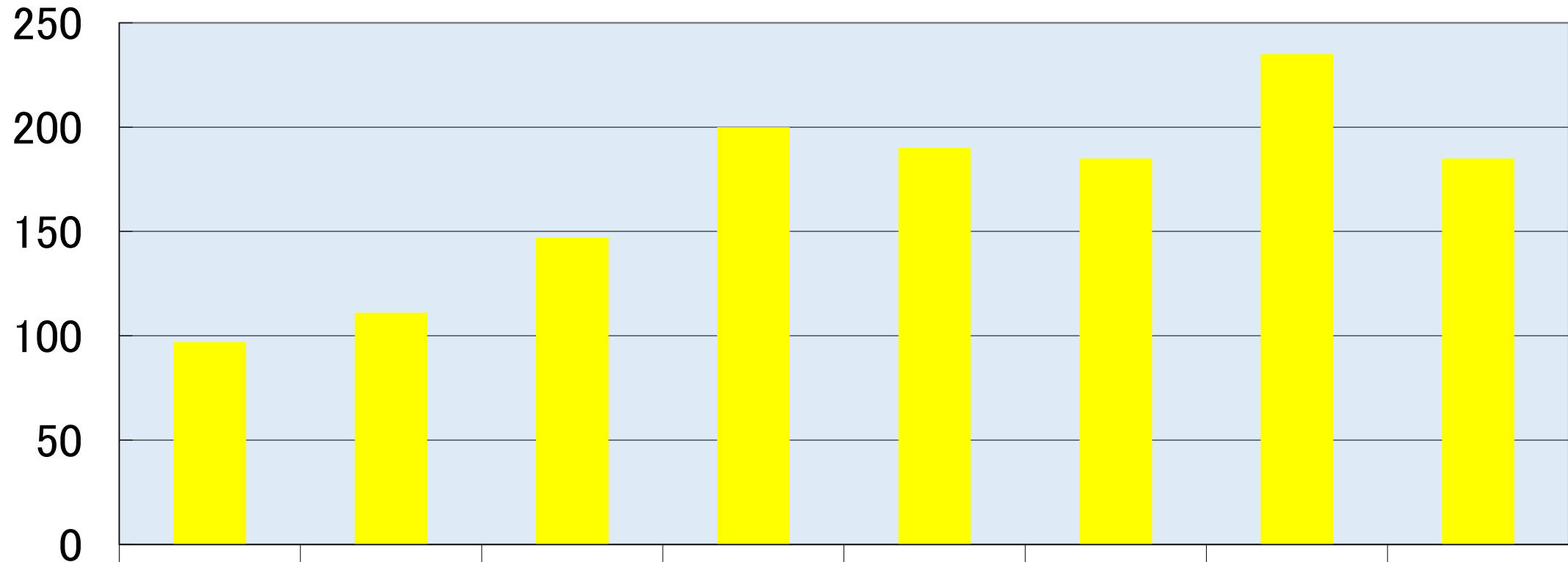
## シンポジウム：社会福祉協議会って何する所？



# 通所サービス利用者によるちぎり絵作品展



# リハケア文化祭 参加者動向



参加人数

2010  
年

2011  
年

2012  
年

2013  
年

2014  
年

2015  
年

2016  
年

2017  
年

97

111

147

200

190

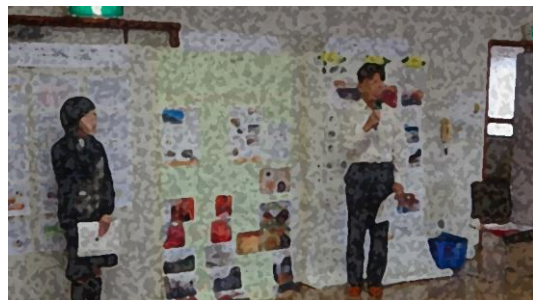
185

235

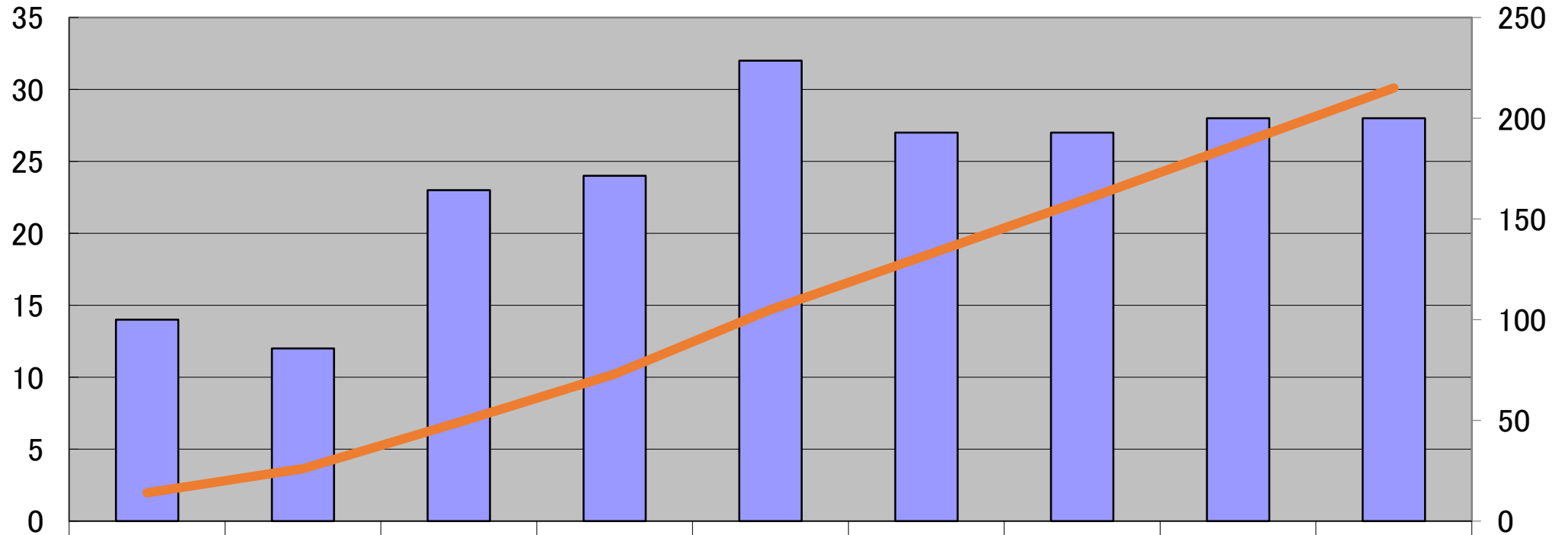
185



# ポスター発表 2017

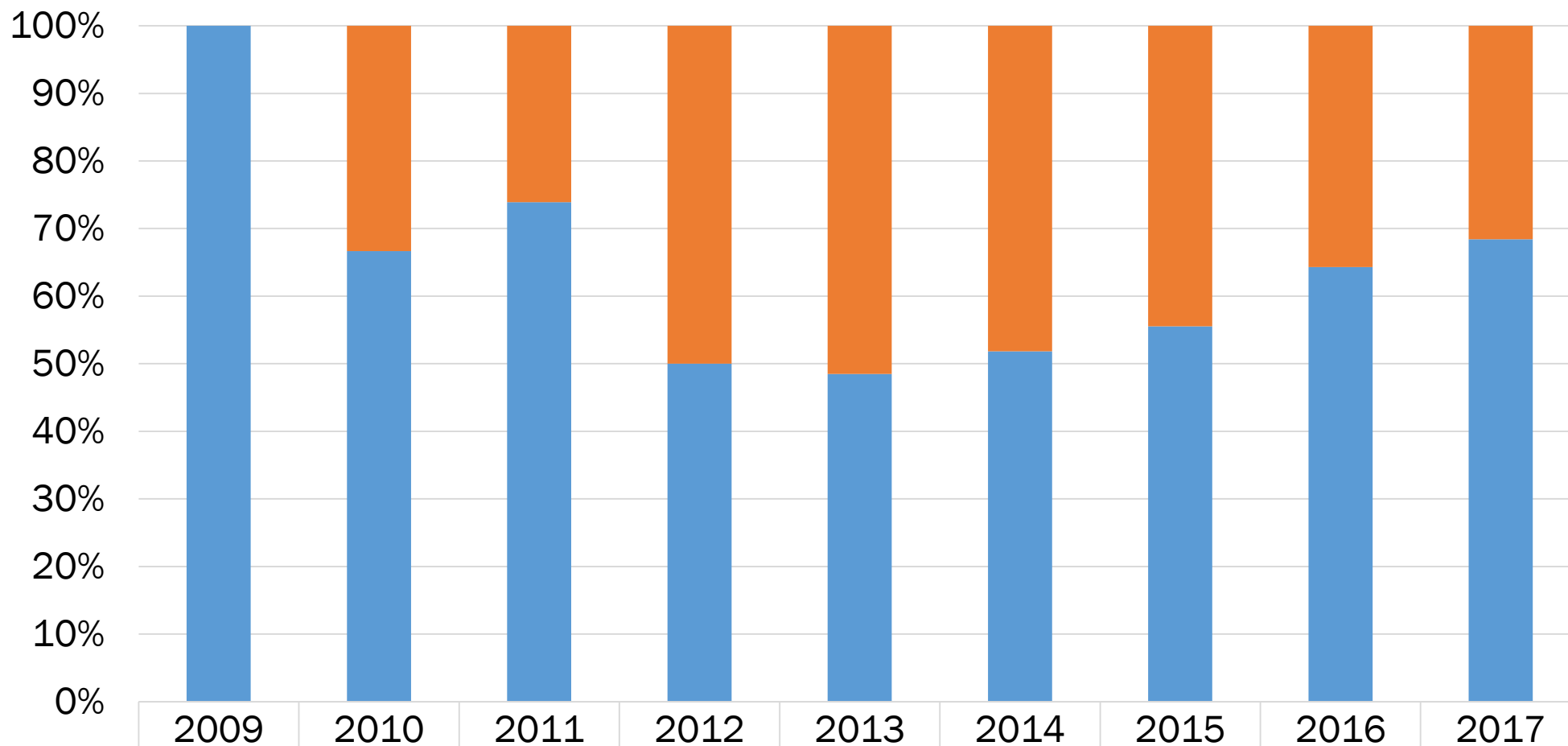


# リハケア文化祭 ポスター発表者 動向



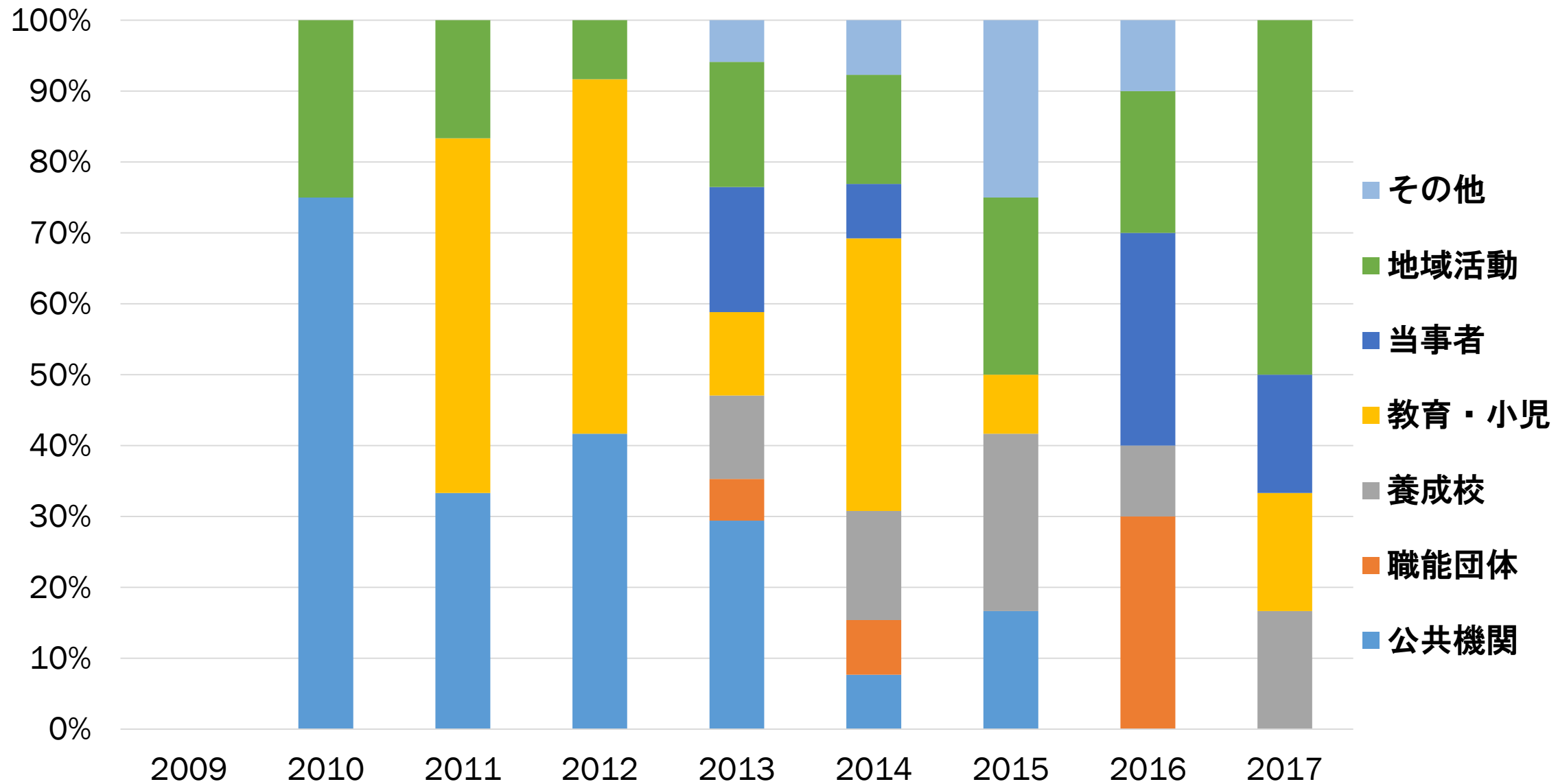
演題数	14	12	23	24	32	27	27	28	28
延べ演題数	14	26	49	73	105	132	159	187	215

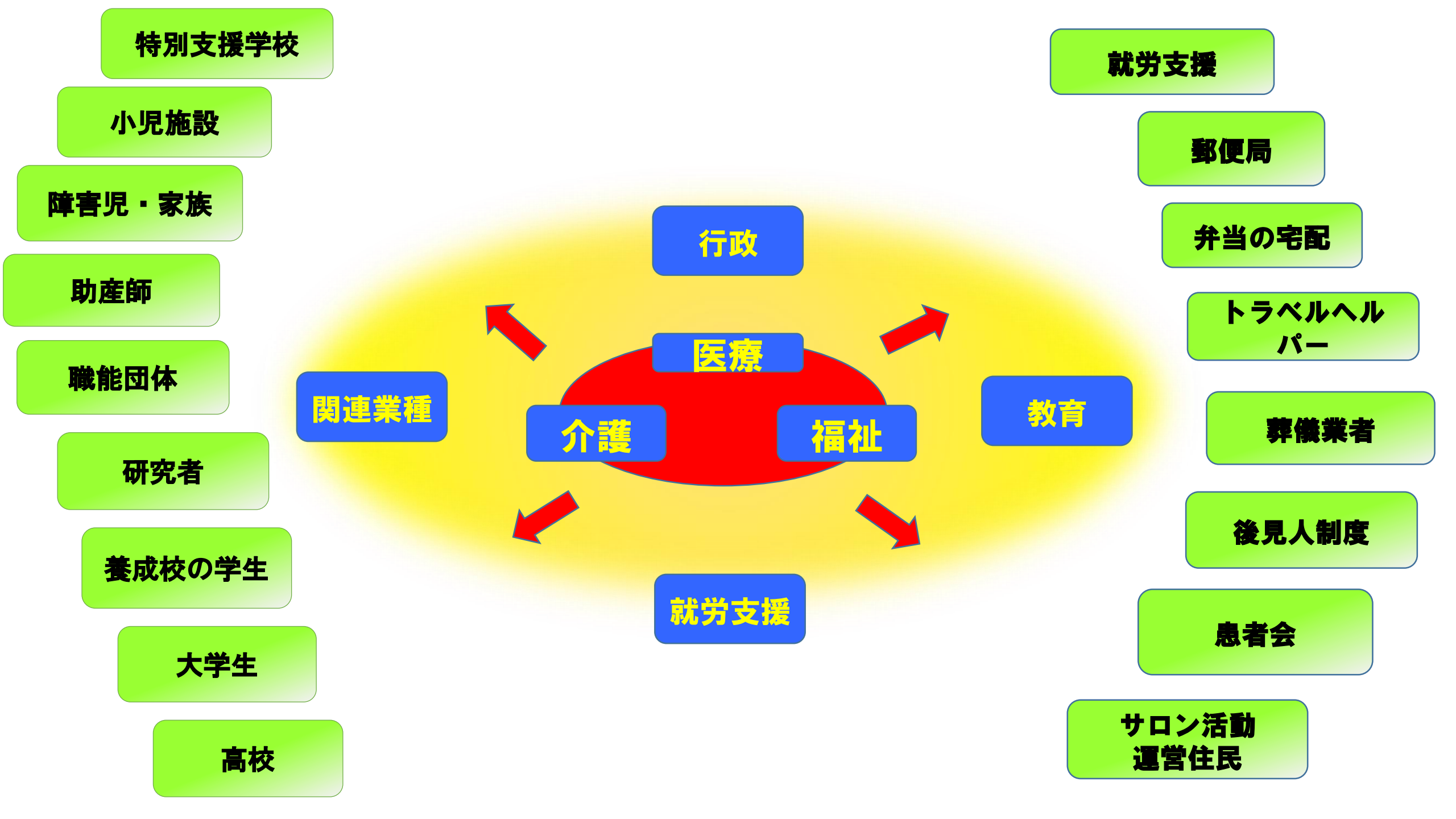
## ポスター発表 (医療・介護、医療・介護以外) 占める割合



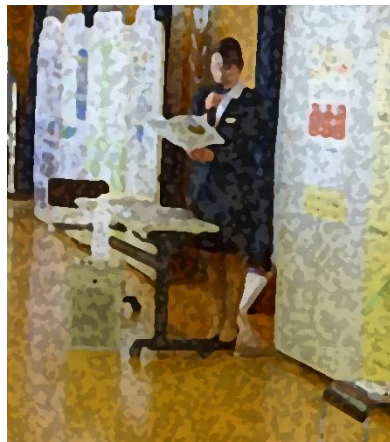
■ 病院・介護以外	0	4	6	12	17	13	12	10	6
■ 病院・介護	14	8	17	12	16	14	15	18	13

# ポスター発表（医療・介護をのぞく） 発表に占める割合





# 色々な方が 発表しています



# まとめ

- 南房総リハビリテーション・ケア文化祭にて、延べ200演題のポスター発表を達成する事ができた。
- 医療・介護等を中心しながら、様々な方々に発表いただき、地域を知る機会を提供する事ができた。
- 第10回を迎え、今後とも地域づくりにむけて、取り組みを継続する